

国際交流科目 イギリス「異文化体験」演習

担当教員：国際教育交流センター 近藤佐知彦教授、歳岡冨香特任助教

【目的】

本科目は、国際交流科目として開講され、本科目の受講生はイギリスのエセックス大学で開講される5週間の英語研修に参加する。現地での研修中、受講生はIELTS受験準備のための英語プログラムを受講し、現地でIELTSを受験する。また、研修中に滞在する学生寮や教室で、他国からの留学生と交流する。現地での研修をより有意義なものとするために、受講生には、英語研修への参加に加え、渡航前に大阪大学で行われる3度の事前研修への参加、渡航前のIELTSの受験、帰国後のレポートの提出が課される。受講生は、グローバル化する社会で求められる国際感覚を身につけることができる。また、本科目はより長期の交換留学の準備にも適している。

【対象学生】

本学の学部・大学院に在籍する正規生

※休学中の者を除く

※2015年9月卒業・修了・退学予定の者を除く

【履修申請方法】

「エセックス大学夏季語学研修プログラム」への参加申請を以て履修申請とする

※KOAN登録は不要

【コース概要】

原則として、以下の全ての研修に参加し、全ての課題を提出することを単位修得（2単位）の条件とする（ただし、卒業要件単位としての認定は、所属学部・研究科の判断による）。

1) 現地研修出発前のIELTS学内受験（未受験者のみ）

過去にIELTSを受験したことがない研修参加者は、研修出発前にIELTSを受験すること。
試験結果については、スコアシートのコピーを教育推進部学生交流推進課学生交流推進係に提出すること。

2) 英語研修（事前研修1）

3) 参加者説明会（事前研修2）

4) 最終説明会・危機管理オリエンテーション（事前研修3）

5) エセックス大学（英国・コルチェスター）での現地研修

研修内容：英語研修（Vocabulary, Reading, Writing, Listening, Speaking etc…）

現地IELTSテスト受験

※研修参加者は、定められた研修日程を順守すること（途中帰国等は原則として認められない）

※出発前のIELTSスコア及び現地でのプレイスメントテスト等により、レベルに応じたコース・クラス分けあり

6) 研修報告書類等作成

〈報告書類〉

1. 英語レポート

エセックス大学の語学研修や寮生活をした体験から、学習内容面と異文化体験について英語でレポートを作成する。写真、注や参考資料を除いて、Times New Roman 12 ポイントの大きさで、本文シングルスペース 2 ページ以上、ページ番号を付けて提出すること。提出期限を過ぎた場合は、減点対象とする。報告書内容には、以下の 5 項目のうち少なくとも 2 つ以上を含むこと

- ①出発前に抱いていたイギリスの印象が、現地研修を通してどのように変化したか？
- ②現地研修から得た新たな洞察や知見で最も重要だと感じたもの
- ③現地での寮生活の中で体験した具体的なエピソード
- ④異文化という観点から現地滞在を通して学んだこと
- ⑤帰国後、どのように研修で学んだことを活かしていきたいか

2. パスポート A4 判コピー

- ①パスポートの氏名・写真等記載ページ
- ②渡航・帰国日の日本の入国管理局出入国印が押されたページ

3. アンケート

[提出期限]

2015 年 10 月 2 日

[提出方法・場所]

1 (英語レポート) 及び 3 (アンケート) は、留学ポートフォリオを通じて提出。2 (パスポート A4 版コピー) は、所属学部・研究科の教務担当窓口を通じて教育推進部学生交流推進課へ提出

【成績評価】

評価基準・評価対象は以下の通りとし、原則として、全ての研修に参加し、全ての課題を提出することを単位修得（2 単位）の条件とする（ただし、卒業要件単位としての認定は、所属学部・研究科の判断による）。

※事前研修への遅刻、提出物の遅れは減点の対象とする。

※成績判定は 10 月下旬以降の予定

評価基準

S 90 点 以上, A 80 ～ 89 点, B 70 ～ 79 点, C 60 ～ 69 点, F 59 点以下

評価対象

- 1) 事前研修（事前研修・危機管理オリエンテーション）への参加状況（15%）
- 2) 出発前（未受験者のみ）、現地での IELTS 受験（15%）

※出発前と帰国後と比較し、伸び率を評価する。

※原則 2 回の試験結果を提出することを単位付与の対象とするが、やむを得ない理由のある場合には、その事由を個別に判断する

- 3) エセックス大学での研修成績（40%）
- 4) 報告書類（30%）